

(別紙)

(2) 集団処遇等の実施状況 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

更生保護施設名 高坂寮

コード番号

8	4	9	1	0	0
---	---	---	---	---	---

1 集団処遇の実施状況

集団処遇の名称	種類	実施回数	実施人員					実施協力者	特記事項
			被保護者			保護者等	合計		
			宿泊	補導	その他				
(記載例) 薬物依存離脱プログラム	②	12	60	40	0	0	100	医療・福祉関係者 自助グループ	依存症の基礎知識に関する講話や、ミーティングを実施した。
自立のための料理教室		2	15				15	更生保護女性会	
							0		
							0		

2 医療・福祉・労働等関係機関との協議会等の開催状況(ケース会議を含む。)

日時	場所	参加者	主な協議内容
(記載例) 5月17日	集団処遇室	更生保護施設職員, 福祉事務所ケースワーカー, 保健所職員, ハローワーク職員	・知的障害が疑われる被保護者の退所後の生活について協議

3 生活保護につないだ事例

番号	事件種別	性別	年齢	生活保護の内容
(記載例)	3号観察	男・女	68 歳	■生活扶助・医療扶助, □生活扶助, □医療扶助, □その他()
1	更一	男・女	64 歳	■生活扶助・医療扶助, □生活扶助, □医療扶助, □その他()
2	3号観察	男・女	44 歳	■生活扶助・医療扶助, □生活扶助, □医療扶助, □その他()
3		男・女	歳	□生活扶助・医療扶助, □生活扶助, □医療扶助, □その他()

(別紙)

4		男・女	歳	<input type="checkbox"/> 生活扶助・医療扶助, <input type="checkbox"/> 生活扶助, <input type="checkbox"/> 医療扶助, <input type="checkbox"/> その他()
5		男・女	歳	<input type="checkbox"/> 生活扶助・医療扶助, <input type="checkbox"/> 生活扶助, <input type="checkbox"/> 医療扶助, <input type="checkbox"/> その他()

(別紙)

4 各種手帳の取得状況

番号	事件種別	性別	年齢	IQ	取得した手帳の種類	
(記載例)	4号観察	男・女	32 歳	65	■知的障害, □身体障害, □精神障害	2 級
1		男・女	歳		□知的障害, □身体障害, □精神障害	級
2		男・女	歳		□知的障害, □身体障害, □精神障害	級
3		男・女	歳		□知的障害, □身体障害, □精神障害	級
4		男・女	歳		□知的障害, □身体障害, □精神障害	級
5		男・女	歳		□知的障害, □身体障害, □精神障害	級

5 就労支援メニューの活用状況(更生保護施設で保護した者に限る。)

(1) 支援対象者

内容	就労支援メニューを活用した件数		うち就職に至った件数	
	件数	うち更生緊急保護対象者	件数	うち更生緊急保護対象者
<input type="checkbox"/> トライアル雇用	件	件	件	件
<input type="checkbox"/> 職場体験講習	件	件	件	件
<input checked="" type="checkbox"/> セミナー・事業所見学会	1 件	0 件	1 件	0 件
<input checked="" type="checkbox"/> 身元保証システム	2 件	件	2 件	0 件

(2) 準支援対象者

活用した件数		うち就職に至った件数	
件数	うち更生緊急保護対象者	件数	うち更生緊急保護対象者
件	件	件	件

(別紙)

(注)

1 「1 集団処遇の実施状況」について

(1) 平成26年4月から平成27年3月までに行った集団処遇について、すべて記載すること。(SST及び酒害・薬害教育を含む。)

(2) 「種類」の欄には、次の区分に基づき、該当する項目の番号を記入すること。

区分: ①社会生活技能訓練(SST), ②依存症回復プログラム(酒害・薬害教育を含む), ③集会, ④レクリエーション, ⑤心理援助プログラム(コラージュ, 箱庭療法等), ⑥就労促進プログラム, ⑦一般教養(料理教室等), ⑧その他

(3) 「実施人員」の欄には、次の定義に基づき、該当する延べ人員ですべてを記入すること。

被保護者:更生保護施設で保護した者

宿泊:宿泊又は食事付宿泊の供与の委託を受けている者

補導:更生保護施設では収容保護しておらず、保護観察所から補導の委託のみを受けている者

その他:被保護者のうち、保護観察所から何ら委託を受けていない者(任意保護被保護者, 家裁補導委託被保護者)

保護者等:被保護者以外の者(ただし, 実施協力者は除く。)

(4) 「実施協力者」の欄には、集団処遇の実施にあたって協力を得た者について、次の例に倣って記載すること。(いずれにも該当しない場合は、適宜記載すること。)

例: 保護観察官, 保護司, 更生保護女性会, BBS, 大学関係者, 医療・福祉関係者, 自助グループ, 法律家

(5) 「特記事項」の欄には、集団処遇の具体的に内容について簡潔に記載するほか、特記すべき事項があれば記載すること。(全体集会, 防災訓練等, 集団処遇の名称から具体的内容が明らかである場合は、具体的内容に関する記載を省略して差し支えない。)

2 「2 医療・福祉・労働等関係機関との協議会等の開催状況(ケース会議を含む。)」には、例に倣い、開催した協議会等の日時, 場所, 参加者, 主な内容を記載すること。

3 「3 生活保護につないだ事例」には、更生保護施設入所中に生活保護の受給を申請した事例について、例にならい必要事項を記載すること。

4 「4 各種手帳の取得状況」には、更生保護施設入所中に障害を有していることを認定され各種手帳を取得した者について、例にならい必要事項を記載すること。

5 「5 就労支援メニューの活用状況」には、被保護者のうち就労支援メニューを活用した者について、必要事項を記載すること。

6 行数が足りないときは増やすなど、適宜工夫して作成すること。